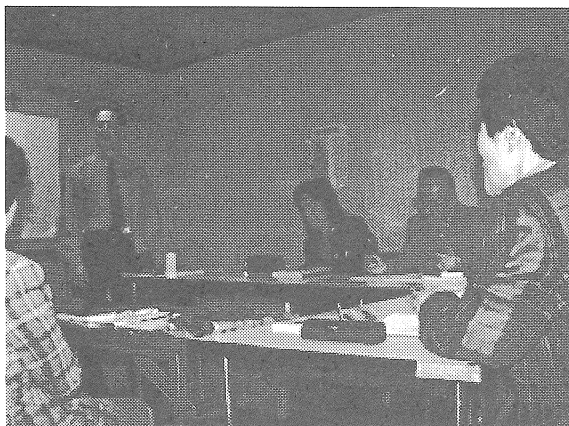


ドイツ語講座が開講しました!

第1回ドイツ語講座に参加して

(会員) 太田詠子



4月8日(土)から我が湘南日独協会の第1回ドイツ語講座が始まりました。クラスは基礎クラスと応用クラスの2コースです。私のクラスは基礎コースで、時間帯は午前中。クラスメートは4人です。講師は本部(財)日独協会のドイツ語講座で人気のあるMax Seihch 先生です。ドイツ人にしてはあまり背が高くありませんが、気さくで親切で大変いい先生です。私はすぐに好感を持ちました。会場は藤沢駅から近い藤沢カトリック教会です。

さて、授業ですが教科書はThemen neuの本を使用。私はThemenは3度目であり、これまでとちがった授業だったので大変おどろきました。例えば数字を覚えるにも、ゲームで7のつく物と、7で割れる物は含まないやり方でったり、大変楽しい授業でした。でも先生は発音には大変きびしく、皆も苦労しておりますが、先生に対しては満足しております。

これからもドイツ語講座を沢山の人でやるように継続したいと思っております。

湘南日独協会 2000 年度活動予定

★7月29日(土) 2000年ドイツフェア

会場 湘南ホテル 午後6時30分開宴予定

★8月26日(土) 会員懇話会

★9月23日(土) 会員懇話会

★10月28日(土) 13:30～

講演会「近世ドイツにおける日本文化」

講師 ヨーゼフ・クライナー氏(ボン大学教授)

会場 ホテル法華クラブ2Fロータスホール

★11月 未定

★12月23日(土) 会員懇話会予定

6月の会員懇話会!

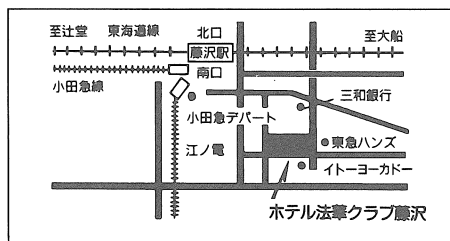
湘南日独協会では隔月で会員懇話会を開催しております。あなたも是非ご参加下さい。

日時 6月24日(土) 午後6時～8時

会場 ホテル法華クラブ藤沢店2F

レストラン「ヴェルデ」ローズルーム※※101

費用 各自自弁です。



湘南日独協会会報 (Der Wind)

VOL 2 . NO. 3 . 通巻 9 . 発行 2000. 5 . 27.

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局: 〒251-0055 藤沢市南藤沢8-9 中丸ビル2F

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

湘南日独協会 第9回例会

講演会

ハプスブルクと現代

講演のモチーフ

ハプスブルク帝国は今世紀の初頭に崩壊したとはいえ、7世紀にわたりヨーロッパ史の核心部分をなしていた。つまりヨーロッパ各国の歴史の深層に広がる巨大な岩盤のような存在である。そして帝国の影は現代のヨーロッパにも見え隠れする。そこで激動の20世紀を振り返り、ヨーロッパ現代史に決定的な影響を与えた出来事を私なりに4大事件として取り上げ、その事件に対してハプスブルクがどのような関わりを持ったかについて考えてみたい。

お話 西沢英男氏(元日本開発構想研究所常務理事)

日時 5月20日(土)午後1時30分より。

受付は1時より。

会場 ホテル法華クラブ2階ロータスホール

(藤沢駅南口徒歩5分)TEL0466-27-6101

会費 会員 2,000円(当日払・茶菓あり)

一般 2,500円

※講演終了後にヤマオカゾーンの協力でドイツワインの試飲会を行う予定です。

■全国日独教会連合会総会 水戸市で開催

今年の全国日独協会連合会の年次総会は3月17日に水戸市総合教育研究所において駐日ドイツ大使臨席の下に開催されました。湘南日独協会からは岩崎英二郎会長と吉田克彦常務理事が出席しました。各地日独協会の活動報告のあと議事にはいり、①日独青少年交流プログラム②2000年年度総会③ベートル日本庭園募金要請などが討議されました。

■ベートル日本庭園に支援

ベートル日本庭園造成計画はつぎのとおりです。『ドイツ中西部にあるビーレフェルト市は市内ベートル地区に広大な障害者職業訓練施設を有する村があることで知られています。この訓練所は130年以上の歴史をもち、特に「てんかん症」の人達に職業訓練を行う「てんかんセンター」は世界で最大の施設で2500人のてんかんをもつ人達が福祉ケアを受けています。

このほど訓練所の敷地に日本庭園(広さ約750平米)を作る計画がてんかん症の人達から提案されました。この発想はこの訓練所に日本人スタッフも勤めていて、親日家が多いこと、日本人見学者が多いこと、1993年に天皇・皇后両陛下が訪問されたことなどによるものです。造園はすべて日本からの造園師の指導を受けながらてんかん症の人達が行います。それ故に日独の文化交流強化の為にも大きな意義ある事業といえ、ドイツ側の関心も並々ならぬものがあると考えます。

庭園は大きくはありませんが、既に設計図は出来、2000年初頭にも作業を開始する段階にあります。日本での募金活動につきドイツの日独協会連合会から日独協会連合会会長に協力要請がありました。総額で約40万マルク(約2280万円)が必要で、国立療養所静岡東病院(てんかんセンター)では「日本てんかん協会」と協力して、募金活動を始めました。』連合会からの要請により当協会から1万円を贈りましたが個人的に寄金する方は事務局までお申し出下さい。

■湘南エールアンサンブルの訪独を後援

一昨年11月、湘南日独協会の発足パーティーで演奏を行なった湘南エールアンサンブルは「一度ドイツで演奏しては？」というその時の来日ドイツ人からの非公式な誘いを契機として、今年の9月16日から26日までワイマール及びその近辺のアルンシュタット、アイゼナハの計3ヶ所で10人のメンバーによる室内楽を中心とした公演を行なう事が決定しました。この訪独は国際交流基金の芸術家派遣による文化使節であり、団主宰の中島良能氏(湘南日独協会会員)は「クラシック音楽の原点ともいえるバッハゆかりの地での演奏なので責任の重さを痛感しています。武満徹作品など日本人の音楽も聴いて頂きたい。」と語っています。当協会ではこの訪独を後援する事となりました。今後一層の日独交流を促進する事となるでしょう。

ドイツ人一行が鎌倉見物

織田正雄

中部ドイツのLuhlaer村からスキーヒュッテのオーナーRegensburg氏一家が鎌倉見物に来られたので旧知の当協会長峯理事と織田が御案内をした。Regensburg親子3人(息子2人)は長野の冬期オリンピックでコックを勤めた関係で、長野日独協会と親交があり、昨年の湘南・長野合同訪独旅行の際は昼食を同氏のスキーヒュッテでとり長野の方々とは旧交を暖めたのであるが、今回は息子の奥さんと孫も含めた一家7名で長野を訪問、ついでに鎌倉観光となったものである。

4月1日(土)9時19分、一行は長野から新幹線で東京駅に到着、大きな荷物を引っ張って横須賀線に乗り換え、鎌倉駅で長峯氏の出迎えを受けた。ダイヤモンド鎌倉別邸ソサエティに荷物を置いて先ず大仏見物、副館長佐藤夫人から立派な私邸で茶菓の接待を受ける。昼食を「いし橋」の卵とじそばです



鎌倉を散策する Regensburg 氏一家

ましてから江ノ電・JRと乗り継いで北鎌倉まで。東慶寺ではちょうど桜を始めいろいろの花が開いていた。ドイツでは今の時期レンギョウしか咲いていないとて、男性3人は花の近接撮影に夢中になる。建長寺は期待の庭が荒れていて残念であった。八幡宮はいっぱいの人出で混んでいたが、正装した赤ちゃんへの御祓いが幾組も有り興味を示していた。帰路若宮大路では各人お土産を購入、9歳Karolinちゃんも店先の日本の伝統的な玩具で無邪気に遊ぶ姿が可愛かった。

ホテルに戻り一服して6時半からの湘南日独協会との会食に出かける途路、どうしても海岸に行きたいとの希望が強く、歩いて10分の由比が浜に行く。親父さんは永年の夢であった太平洋まで、とうとう来られたと大喜びで打ち寄せる海水をしゃくっていた。

会食は長谷のスペイン料理屋で。湘南日独協会側は岩崎会長、長峯理事、松野理事、古屋夫妻、大田詠子、織田の7名が出席、なごやかな雰囲気で行くには楽しんでいただけた。

翌2日早朝の一行出発はお送りしなかったが、既にドイツから無事帰国の報告があった。

(湘南日独協会副会長)